



1. 気象概況 (中野市長丘地区気象ロボット観測データによる)

月間 \ 旬別	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
6 月平均気温 (°C)	17.8	18.6	21.1	19.8	21.0	21.3	19.9	19.9	平年比±0°C
6 月降水量 (mm)	28.5	16.2	43.0	25.2	35.0	49.1	106.5	90.5	平年比 118% (下旬 71%)
6 月日照量 (h)	62.6	67.4	47.8	56.7	49.1	41.4	159.5	165.5	平年比 96% (下旬 119%)

- 4 月は、平均気温が上旬・下旬が平年より大幅に高く、月間では平年比+2.0°C 高く経過した。降水量は、中旬が曇天の連続であったため特異的に多く、平年比 140% で経過した。日照量は、下旬が非常に多く経過したが、上中旬が平年の半分以下であったため月間では平年比 82% にとどまった。4/27~5/7 まで最高気温が 11 日間連続夏日を観測。
- 5 月は最高気温 25°C 超えが 22 日と過去最多を記録する等気温帯は 6 月並みで経過した。降水量は中旬が平年を上回ったが、月間では平年比 74.5% と少雨で経過した。日照時間は下旬が 100 時間超える等、対比 132% と平年を大幅に上回った。尚、風速 10m/s 以上が 20 日と特に午後に強風も多かったのが特徴的であった。
- 6/8 梅雨入り。(昨年-3 日、平年同日) 尚、梅雨明けは東日本・東北を中心にやや長引く予想。
- 6 月上旬は最低気温が平年より 2°C 弱低く推移したため、平均気温は平年をやや下回った。5 月下旬に観測がなかった降水量は、まとまった降雨日もあり、平年比 176%、平均湿度は 74%。日照時間は曇天日もあり平年比 93% にとどまった。
- 6 月中旬は気温帯が平年を 2°C 弱上回り、降水量も平年の 171%、平均湿度 78% と高温多湿状態が顕著であった。曇天日も多く日照量も平年の 84% で経過した。併せて、10m/s 以上の日を 2 日観測した。
- 6/17~23 まで連続して、日量 5 mm 以上の降雨を観測している。この期間の平均湿度も 80% 以上で経過している。(6/17 15.0 mm、6/23 17.5 mm、6/17~23 合計 63.0 mm) 最高気温も高く、高温多湿状態が続いている。(6/25 31.5°C) この影響で果実腐敗性病害の感染が心配される。
- 6 月下旬は最低気温が 15°C を下回る日もあり、平均気温は平年をやや下回った。(参考：夏日 6 日、真夏日 1 日) 降水量は連続した降雨日があったが平年の 72% にとどまった。(6/21~23 で合計 30.0 mm 雨量観測、平均湿度 78%)。尚、日照時間は平年の 119% とこの時期では多めで経過した。
- 6 月の平均気温は平年並みで経過。(特記：上旬最低気温平年比-1.6°C、中旬最高気温平年比-1.9°C)。降水量は梅雨入り後に多く、上中旬が平年より多く、月間では平年比 118% で経過。日照量は中旬が平年を大きく下回り、平年比 96% で経過した。月間平均湿度 77% とほぼ平年並みであった。
- 梅雨明けは平年並みの 7/20 頃を予想。

2. 品目別生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

- りんご（ふじ 開花：4/27、満開 4/29、落花：5/4） 満開時点：前年比-4日、平年比-6日
- ・ 4月下旬の高温で開花まで満開まで一気に到達。南部で4/28、平岡で4/29頃、岩井沖でも5/2頃確認。昨年より4~5日早い。
- ・ 腐らん病が蔓延している。枝単位の病斑も目立つ。発生程度は平年より多く、発生時期も早い。
- ・ 5月の高温乾燥によりうどんこ病の発生が目立つ。つがる・紅玉等で多い状況。生産量には影響しない程度。
- ・ マイマイガの幼虫の食害が目立つ。特に幼木では大型害虫により食害が多い。
- ・ 中生品種の肥大は比較的良好。生産量もほぼ昨年並みの予想。秋映のサビもなく品質も良好。
- ・ ふじはカラマツや肥大不良が目立つ。高温による生育の進みと中旬の降雨により中心果の肥大は昨年より良い。
- ・ 定植後の土壌乾燥で、苗木の枯死が多い。また、幼木の発芽不良も目立つ。梅雨に入るまでは定期的なかん水を行う。
- ・ **ふじ定点肥大調査（7/1）：縦径 47.4 mm（前年比 108%、平年比 109%）、横径 54.4 mm（前年比 114%、平年比 119%）**
- ・ 生産量予想（前年対比）：ふじ 97%（97,000 c/s）、つがる 94%（12,000 c/s）、秋映 100%（32,000 c/s）、スイート 100%（12,000 c/s）、ゴールド 95%（10,000 c/s）
- ・ 黒星病の果実被害が散見される。北部地帯に多く、摘果後も被害果が残る園もあり。5月10~20頃の果実感染とみられる。

- もも・ネクタリン（白鳳 開花：4/18、満開：4/23、落花：5/1） 満開時点：前年比-6日、平年比-4日
- ・ ハウスもも（1件） 日川白鳳満開：2/24、初出荷：日川白鳳 5/8、紅国見 5/19。
- ・ もも白鳳満開：日野 4/20、高丘(草間沖)4/21、平岡 4/23。ネクタリン満開：吉田 4/20、平岡 4/21。
- ・ **果実肥大（6月15日時点）は、あかつき 昨年比 107%、平年比 115%。生育が進んでいる分、肥大も進んでいる。**
- ・ 5月末からせん孔細菌病の葉病斑と枝病斑(枝中間部)が散見され、地域によっては果実感染の多発が心配される。薬剤散布の徹底と病斑の除去、袋掛けによる果実感染の予防に努める。
- ・ うどんこ病の発生が一部見られるが、大半は摘果で調整できる程度の発生。
- ・ 幼木・若木（7~8年生）の枯死、開花期以降の樹勢衰弱が散見される。（あかつき・なつっこ・スイート系ネク中心）
- ・ **収穫予想：たまき 7/12~、白鳳 7/26~、あかつき 7/31~、なつっこ 8/9~、川中島 8/22~、黄金桃 8/25~、白根 9/14~**
- ・ **サマーC7/14~、晶光 8/2~、フレーバーT8/15~、ファンタジア 8/27~、秀峰 9/9~（昨年より5日早い見込み）**
- ・ 出荷量予想（前年対比）：白鳳・あかつき 108%、なつっこ 117%、川中島 108%、黄金桃 107%、白根 109%

- ナシ類
- ・ 南水開花：4/24、満開：4/26、落花：5/1 ラフ開花：4/25、満開 4/27、落花：5/1） 満開時点：前年比-4日、平年比-5日
- ・ ラフランス老木樹で腐らん病が多い。発生程度は平年より多い。至急、病斑部の削り取り処理等を実施する、
- ・ 満開は南水で4/26頃（田麦沖）、ラフランスで4/27頃（田麦沖）確認。昨年より4~5日早い。受粉作業も順調に実施できた模様。
- ・ ラフランスの結実良好で一定の結実量を確保できた模様。 **全体の生産量は昨年比 105%を見込み。**
- ・ 南水の結実は一定の結実量を確保できた模様。 **一部結実不良園もあるため、全体の生産量は昨年比約 95%を見込む。**
- ・ 5月の強風等で、果実にスレ等が多い。結実量を加味して、程度のひどい果実は摘果で除去する等の対策をとる。
- ・ **南水定点肥大調査（7/1）：縦径 32.5 mm（前年比 94.5%、平年比 95.0%）、横径 38.0 mm（前年比 92.2%、平年比 89.8%）**
- ・ **ラフランス定点肥大調査（7/1）：縦径 46.9 mm（前年比 111%、平年比 109%）、横径 42.0 mm（前年比 120%、平年比 114%）**
- ・ 果実肥大は開花の進みと高温等により、進んでいる状況。一輪摘果が早い西洋梨では特に良好である。
- ・ 生産量予想（前年対比）：オーロラ他 100%（6,000 c/s）、ラフランス 101%（30,000 c/s）、南水 95%（48,000 c/s）

✿ プラム・プルーン（太陽 開花：4/12、満開：4/16、落花：4/27） 満開時点：前年比－9日、平年比－7日

- 太陽 4/16 満開（昨年比－9日）。開花期間は15日と平年より3～4日長かった。
- 貴陽・太陽は昨年より結実量が少ない状況。開花期の曇天により人工授粉が満足にできなかったことや受粉樹との開花差異が影響しているとみられる。大石・紅・ソルダム・秋姫の結実量は昨年並み。（貴陽 30 t、太陽 90 t、秋姫 75 t 予想）
- 静香、大石他にふくろみ病の発生が多い。越冬菌の多さと開花期の降雨で感染したと見られる。生産量に影響する園もあり。
- 5月中旬からシンクイムシ類の越冬世代の発生。果実食入被害が散見される。多発園では特別散布等を講じる。
- 収穫予想：大石 6/24～、紅 7/13～、静香 7/16～、ソルダム 7/28～、SE7/28～、貴陽 8/5～、太陽 8/20～、秋姫 9/5～
- 肥大は良好。5月の強風によるスレ・サビが多い。大石早生の収穫開始は昨年より5～7日早い。

✿ サクランボ（露地佐藤錦 開花：4/19、満開：4/22、落花：4/27） 満開時点：前年比－9日、平年比－8日

- ハウス 6月末時点：数量 23,158kg（前年対比 95%）、単価 5,268円（対比 102%）、金額 121,992千円（対比 97%）
- 3月下旬～4月初旬の高温により、成熟が進み前進出荷となった。4月中下旬の低日照・曇天により、室内が多湿となり灰星病、花腐れ、果実の委縮（シワ）等が多発した。併せて微量要素欠乏症状により落果、変形果が多発した。
- 大型連休中の高温で、収穫前の品種にうるみ果、裂果の発生が多く、減収の要因となった。
- 5月の高温により生育が進み、露地の収穫は昨年より5～7日程度前倒しとなった。（6/5 収穫開始）
- 梅雨入り後の高温多湿により、灰星病が発生。発生が多い園地は EBI 剤の散布で対応。
- 露地・雨よけ 6月末時点：数量 5,285kg（前年対比 128%）、単価 1,744円（対比 97%）、金額 9,216千円（対比 124%）

✿ ぶどう

- ハウスぶどう 5/6 初出荷。約 300 kg。
- 5月上旬からマイマイガの食害が目立った。発生程度は昨年より多い。合ピレ剤（アディオン F 等）で対応済み。
- 5月下旬の高温で生育が進み、有核巨峰で5月末の開花を迎えた。満開までの到達も早い状況。また、南北の生育差も小さい。
- 新梢の誘引作業がやや遅れている状況。また、強風により新梢の欠損も見られる。
- 開花：有核巨峰 5/30、無なし巨峰 6/1、シャイン M6/7 開花期は昨年より10日程度早い。
- 1回目のジベ処理は6/10～第3週にかけて適期。尚、フルメットは1回目に加用する。
- 夏季の長雨・曇天によるべと病の発生が心配される。計画的な予防散布を徹底する。
- 北部地帯では、有核で若干の単為結果・親子ぶどうが心配される。単為結果の場合は着房数・ジベ処理方法等を確認する。

✿ 野菜・花き

- 施設アスパラ初出荷：3/13。（昨年比－9日）累計出荷量は前年対比 99.2%（4/20 迄）
- 露地アスパラ初出荷：4/25。土壤乾燥等により平年より4～5日遅れる。累計出荷量は5月末で13,896ケース。（前年対比 86.4%）
- 露地アスパラは4/18の凍霜害で約100万円の被害。生産量の減収要因は、面積減、連作障害、土壌性病害（株腐病・立枯病・疫病他）の発生、昨秋の茎枯病多発による株養成量不足、出荷前の養分消耗等が挙げられる。
- シャクヤク 初出荷 加温 3/29（昨年比－3日）、露地 5/10（昨年比－5日） H27 6/4 1,788千本（前年対比 101%）
- 2条高温のため「やけ」発生、箱内品質統一のため5/10より「ゆるめ」の出荷混入徹底。日中高温より取り不足もみられた。
- トルコ初出荷：6/2、花き全般 5月中～6月上旬 アザミウマ類発生。6月に入り、コギク・アスターに白色カビ病が発生。
- なす半身萎凋病、きゅうりにべと病、炭そ病が発生。5月の干ばつで生育が遅れていたが、梅雨入り後は順調に生育中。

アメリカシロヒトリの防除対策について

アメリカシロヒトリの密度が高くなる前から計画的に防除を進めてください。尚、地域によっては効果が著しく低下している薬剤もありますのでご注意ください。

1. 防除時期

- ① 若齢幼虫期に防除するのが最も効果的。
- ② 老齢幼虫になると発生密度が高くなり、葉を暴食するので薬剤による防除は困難になる。
- ③ 孵化直後の幼虫は巣網を張って群生し、葉脈を残して葉を食べるため、被害葉は透けてみえる。次第に巣網は大きくなり、目につきやすくなり、その後、幼虫は分散する。

以上の特性から 3 段階に分けて防除することが効果的である

- 越冬世代幼虫…5月中旬～6月上旬頃発生
- **第1世代幼虫…6月中旬～7月上旬頃発生**
- 第2世代幼虫…8月上旬～9月上旬頃発生

2. 薬剤防除について（下記の薬剤は全てJAで取り扱っています）

時期	薬剤名	倍率	適用
7月上旬	スミチオン水和剤 40（有機リン系）	1,000	果樹・野菜・樹木
	ダイアジノン水和剤 34（有機リン系）	1,000	果樹・野菜・樹木
	ディアナWDG（スピノシン系）	5,000～10,000	果樹類
	ディアナSC（スピノシン系）	2,500～5,000	野菜類・花き類
	アディオフロアブル（合成ピレスロイド）	1,500	果樹類
	アディオン水和剤（合成ピレスロイド）	2,000	果樹類
	トレボン乳剤（合成ピレスロイド）	1,000～2,000	野菜類・樹木類
8月上旬～	バイスロイドEW（合成ピレスロイド）	2,000	果樹類
	アディオフロアブル（合成ピレスロイド）	1,500	果樹類
	アーデントフロアブル（合成ピレスロイド）	2,000	果樹類
	イカズチWDG（合成ピレスロイド）	1,000	果樹類
	アーデント水和剤（合成ピレスロイド）	1,500	果樹類・野菜類
	トレボン乳剤（合成ピレスロイド）	1,000～2,000	野菜類・樹木類

◆ 注意事項

- ① 有機リン系のダイアジノン水和剤やスミチオン乳剤だけでは、効果が発現しにくい場合もありますので、ジアミド系殺虫剤（フェニックスFやサムコルF他）も併せて使用すると効果的です。
- ② 多発時（盛夏期）は薬剤効果が著しく低下するので、その場合は速効的かつ残効が長い合成ピレスロイド剤を使用してください。
- ③ 定期散布や特別散布を実施する場合は、年間の使用回数制限に注意してください。
- ④ 各農薬使用の際は、ラベル等をよく確認し、使用規制・回数等を遵守してください

✿ 品目別薬剤防除（6月中下旬～7月上旬）

定期防除日程も昨年より4～5日程度前倒しになっています。梅雨入り後、高温多湿状態が続いています。予防散布に努めてください。

✿ りんご

散布時期：7/1～5

散布薬剤

- コロマイト乳剤 1,000 倍（ハダニ類）
- バイスロイド EW2,000 倍（シンクイムシ類）
- ナリア WDG2,000 倍（輪紋病他）

*褐斑病発生園はトップジン

✿ もも

散布時期：6/29～7/4

散布薬剤

- ナリア WDG2,000 倍（灰星病）
- イカズチ WDG1,500 倍（モモハモグリガ他）

*前回から14日後に散布する。

*せん孔病発生園はスターナ水和剤 1,000 倍を加用する。

散布時期：7/13～18

散布薬剤

- オンリーワン F2,000 倍（灰星病）
- ダニサラバ F1,000 倍（ハダニ類）
- サムコル F5,000 倍（モモハモグリガ他）

*前回から14日後に散布する。

✿ 梨類

和梨（有袋）

散布時期：7/5～10

散布薬剤

- ナリア WDG2,000 倍（黒斑病他）
- スミチオン水和剤 1,000 倍（シンクイムシ類他）

*ナリア WDG は、ピオーネ・サニールージュ等に薬害を生じる恐れがあるので注意する。

西洋梨（有袋）

散布時期：7/5～10

散布薬剤

- ナリア WDG2,000 倍（輪紋病他）
- サイアノックス水和剤 1,000 倍（シンクイムシ類）

*ナリア WDG は、ピオーネ・サニールージュ等に薬害を生じる恐れがあるので注意する。

✿ プラム

散布時期：6/28～7/5

散布薬剤

- ベルコートフロアブル 2,000 倍（灰星病）
- アーデントフロアブル 2,000 倍（シンクイムシ類）
- バリアード顆粒水和剤 4,000 倍（シンクイムシ類）

*かいよう病発生園はスターナ水和剤 1,000 倍加用。

散布時期：7/8～7/15

散布薬剤

- イカズチ WDG1,500 倍（シンクイムシ類）
- フェニックス F4,000 倍（シンクイムシ類）

*かいよう病発生園はスターナ水和剤 1,000 倍加用

*ハダニ類発生園は、ダニゲッターF2,000 倍加用する。

平成 27 年度果樹類の苗木助成措置について

下記の表は現段階の予定です。参考にしてください。

品目名	品種名 (台木種他)	助成割合 (%)	要件他 (導入面積・本数他)	活用事業名
りんご	百年ふじ (台木種類：丸葉・JM)	30	1本から可	市単 (中野市)
	長ふ 12 (台木種類：丸葉・JM)	30	1本から可	市単 (中野市)
	らくらくふじ (台木種類：丸葉・JM)	30	1本から可	市単 (中野市)
	赤色果肉品種 (台木種類：丸葉・JM)	20	1本から可	JA研究開発
	わい化栽培用施設 (資材)	20	支柱・固定線他	JA研究開発
もも	秘味黄金・白鳳 あかつき・なつっこ 川中島白桃・黄金桃 白根白桃・GP	30	<ul style="list-style-type: none"> 導入面積 5a 以上 購入本数 10 本以上 	園芸特別対策
ネク	サマークリスタル ファンタジア 秀峰	30	<ul style="list-style-type: none"> 導入面積 5a 以上 購入本数 10 本以上 	園芸特別対策
ぶどう	シャインマスカット ナガノパープル クイーンニーナ 巨峰	30	1本から可	市単 (中野市)
果樹類 *①	改植後 りんご・もも 梨・ぶどう サクランボ・柿・プラム くり・梅・キウイF他	定額 16万円/10a	<ul style="list-style-type: none"> 2a 以上 5a 以上 5ha 未満の場合 未収益期間支援 20万円/10a 	果樹経営支援対策 (国庫) 第一次 7/31 締切
果樹類	改植後 りんご新わい化栽培 梨等ジョイント栽培	定額 32万円/10a	<ul style="list-style-type: none"> 2a 以上 5a 以上 5ha 未満の場合 未収益期間支援 20万円/10a 	果樹経営支援対策 (国庫) 第一次 7/31 締切
果樹類	新植 かん水施設設置 防霜ファン・防風網設置	補助率 1/2	<ul style="list-style-type: none"> 2a 以上 5a 以上 5ha 未満の場合 未収益期間支援 20万円/10a 	果樹経営支援対策 (国庫) 第一次 7/31 締切

注意事項

- ① 改植後の品目 (栽培方法) が何であるかによって助成内容が変わります。
- ② 27 年度果樹支援対策事業は新植の場合でも、事業費の 1/2 (5a 以上の場合は未収益期間支援 20万円/10a) 補助となる見込みです。
- ③ 27 年度果樹支援対策事業の新植の対象品種は一定の要件が付く見込みです。(種苗法、栽培実績他)
- ④ 27 年度の第一次取りまとめ締切は、7/31 (金) です。